

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	4.27	
	「3歳未満児保育」	26	4.19	
	「3歳以上児保育」	53	4.21	
	「教育保育の配慮事項」	16	4.13	
	「健康・安全」	28	4.04	
	「子育ての支援」	18	4.11	
	「職員の資質向上」	9	4.11	
	計	165	4.16	
総合 評価	<p>今年度も子どもの人権・養護について改めて深く考える一年となり、職員間で気づきや振り返りを共有する事ができ、保育の質の向上にも繋がった。今後も継続して、どんな些細なことでも、クラスや立場を越えて話しやすい関係づくりを進めていきたい。</p> <p>園児がケガをする事故が一定数発生し、職員による園児の見守りに課題が残った。丁寧な対応に努めたため、保護者の不信を招くような事案はなかったが、遠藤メソッドによる点検と改善を職員間で共有しながら、確実に定着させる必要がある。</p>			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
職員・職員の家族との「信頼」の構築	意欲を伸ばす職場環境づくりに向け、個別面談やケース会議などで意見や考えを出し合い、お互いに認め合いながら取組や計画に繋げる。 【年間2回（前期1回 後期1回）】
こども・高齢者・障害者との「信任」の構築	虐待が起こらないよう、チェックリストを活用して職員の意識や気づきを高め、保育の見直しや改善を行う。 【年間3回（前期2回 後期1回）】
地域の学校との「信頼」の構築	園と学校との円滑な接続に向け、「つながり」事業を通して情報を得ると共に小学校との交流事業（担当者会）に参加する。 【年間3回（前期2回 後期1回）】